

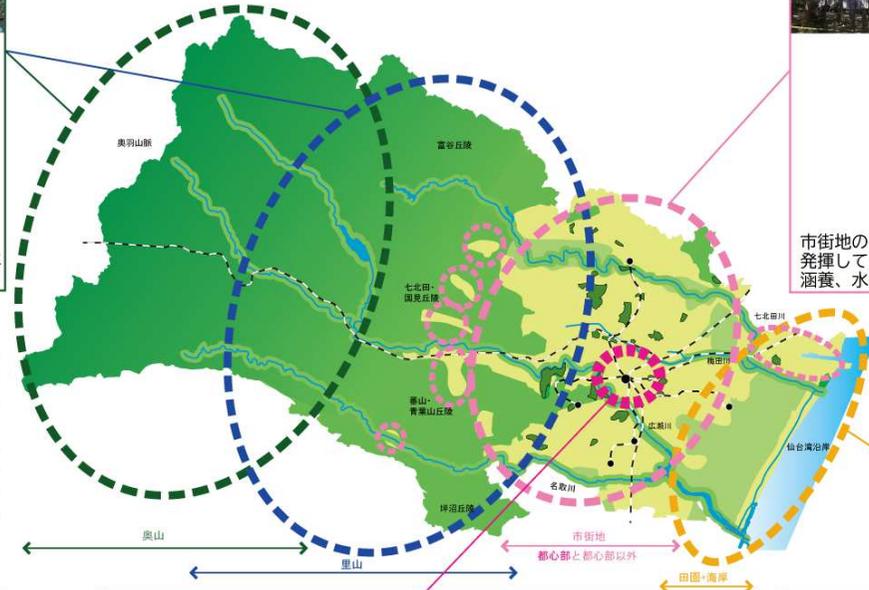
杜の都のグリーンインフラ

仙台は、森林や里地里山、市街地のみどり、東部の農地、源流から河口に至る河川など、市域に多様な自然がながりを持って分布している稀有な都市です。

これらの骨格となる多様なみどりは、水害の軽減、水源・地下水涵養、水質浄化、利水、微気象の緩和などの様々な役割を果たしています。

奥山・里山

樹林を保全し適正に管理することで、生物多様性の保全、CO₂吸収、水質浄化、水源の涵養等の機能を発揮します。



凡 例	
■	山地・丘陵地のみどり
■	田園のみどり
■	水が育むみどり軸
■	みどりと共生する暮らし空間
■	みどりの拠点
■	みどりと共生する暮らし空間
■	みどりの拠点

市街地（都心部以外）

市街地のみどりは景観の向上、レクリエーション、コミュニティ形成等の機能を発揮しており、雨水の浸透・貯留機能を高めることにより、水害の軽減、地下水涵養、水質浄化等に貢献します。

河川

河川の基本的な機能である治水、利水に加え、生物多様性の確保、微気象緩和、景観の保全等の環境機能を発揮し、また、河川敷の利活用によりレクリエーションやコミュニティ形成に貢献します。

市街地（都心部）

みどりを計画的に配置することで暑熱緩和、景観の向上、レクリエーション等の機能を発揮しており、雨水の浸透・貯留機能を高めることにより、水害の軽減、地下水涵養、水質浄化等に貢献します。

田園・海岸

夏季の冷たい海風は東部の平坦な地形を通過して内陸まで届き、市街地の温度の上昇を緩和しています。沿岸部の防災林は防潮・防風機能を確保し、防潮堤やかさ上げ道路等による津波被害を軽減する多重防御の機能を高めます。農地、湿地、屋敷林や樹林地の保全により生物多様性確保、地域固有の景観保全に貢献します。

グリーンインフラ：社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組